

科目名		住宅構造演習			
担当教員		高橋 二三雄		実務授業の有無	有
対象学科	建築大工科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	39時間
授業概要、目的、授業の進め方	2階建木造軸組工法の軸組模型（縮尺1/20）を共同で制作する。 木造在来工法の仕組や部材名称を立体的に理解する。				
学習目標 (到達目標)	2階建木造軸組模型を見栄え良く完成する。きれいで丁寧な作業を心がける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、木工ボンドのみ支給、カッター、のこぎり、定規、下敷300角は共用				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	軸組模型の練習			簡単な軸組模型1/20を作る。	
2	軸組模型の制作手順等検討、敷地パネル制作			建物全体の構造を把握して、組立方を検討する。 ・便利な小道具を考案してを作る	
3	軸組模型 基礎、束石、土間の取付			①基礎貼り付け図、①基礎伏図を読取、基礎を作成できるようにする。	
4	軸組模型 1階床の組立			②1階床伏図を読取、床を構成できるようにする。	
5	軸組模型 軸組刻み組立			③④軸組図を読取、壁を構成できるようにする。	
6				⑤⑥軸組図を読取、壁を構成できるようにする。	
7				⑦⑧⑨⑩軸組図を読取、壁を構成できるようにする。	
8	軸組模型 2階床の組立、1階小屋等の取付			⑪2階床伏図、1階小屋伏図を読取、床、小屋を構成できるようにする。	
9	軸組模型 2階小屋梁等の組立			⑫2階梁/小屋伏図を読取、梁、母屋、小屋束、垂木等を構成できるようにする。	
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題の評価			各授業項目の節目毎に評価します。不合格の場合は再度、次回授業始めに提出してください。それでも不合格の場合は提出期限切れとします。共同責任になります。 取組姿勢内訳は（提出期限30%）とします。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築・デザイン設計事務所を経て現在個人事務所で実務合計30年			